

【家畜感染症学会会員各位】

「第 49 回日本マイコプラズマ学会学術集会」の開催について(ご案内)

学術集会大会長 樋口 豪紀

下記の通り「第 49 回日本マイコプラズマ学会学術集会」を開催いたします。獣医学はもちろん、医学、理学、植物学等、幅広い領域からの発表がございます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。尚、演題登録および参加登録は 4 月 15 日まで行っております。詳細につきましては、下記 HP をご確認ください。

<https://sites.google.com/rakuno.ac.jp/mycoplasma-49th-jsm-2022>

開催概要

会期: 2022 年(令和 4 年)5 月 27 日(金)~28 日(土)

場所: ホテルエミシア札幌

〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央 2 条 5 丁目 5-25)

学会参加費: 会員および非会員 5000 円・学生 2000 円

教育講演およびシンポジウム

■教育講演

『One Health からみた薬剤耐性菌の現状と対策』

座長 樋口 豪紀(酪農学園大学)

演者 田村 豊(酪農学園大学)

■シンポジウム 1

『獣医領域におけるマイコプラズマ研究の最前線』

座長 清水 隆(山口大学)・権平 智(酪農学園大学)

- 「ウシマイコプラズマ感染症における免疫抑制機序の解明」
後藤 伸也(農研機構 動物衛生研究部門)
- 「Mycoplasma bovis のウシ関節における病原性と巧みな生存戦略」
西 航司(オホーツク農業共済組合 興部支所 紋別家畜診療所)

■シンポジウム 2

『ファイトプラズマ・アコレプラズマの未知の生態に挑む』

座長 前島 健作(東京大学)

- 「日本各地で問題となっているホルトノキのファイトプラズマ病に関する研究」
遠藤 藍(法政大学 生命科学部)
- 「東南アジアで散発するイネファイトプラズマ病の伝染環」
千葉 壮太郎(名古屋大学 大学院生命農学研究科)
- 「養豚排せつ物処理環境から検出されたアコレプラズマ属近縁細菌の生態」
花島 大(農研機構 北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域)

■シンポジウム 3

『マイコプラズマ基礎研究の最前線』

座長 見理 剛(国立感染症研究所)

- 「ATP 合成酵素から進化した Mycoplasma mobile 滑走運動のモーター」
豊永 拓真(大阪公立大学 大学院理学研究科)
- 「スピロプラズマのオス殺し毒素-発見とその後の研究展開」
春本 敏之(京都大学白眉センター)
- 「マイコプラズマは流れに逆らって滑走する」
中根 大介(電気通信大学 大学院情報理工学研究科)